

今日のメニューはカレーと牛丼

今日も職員・組合員 20 人が 9 時に対策本部前に集合。この間の取り組みと今日の予定を確認し、分担を決めて作業に移りました。4 日目となる東高校避難所への炊き出しは、ご飯と支援物資のカレー・牛丼を温めたものにサラダでした。この炊き出し支援は、明日から病院が通常診療に戻ることから職員の体制がとれず、今日までと考えていましたが要望が強く、組合員だけで何とかできないか検討中です。丹治院長・北條副院長と北海道から支援に来られた小林先生を中心に、後午から 2 組で避難所訪問を行いました。北條組は 18 時現在まだ戻っていません。食事は 1 日 1 回配られるだけ。という避難所もあり過酷な避難生活が今も続いています。



通所りハビリでの炊き出し組合員さんが大活躍

「落ち着いて考えられるようになった」

— 斎藤紀先生のテレビ放送を見て —

昨日、TUF に生出演して行われた斎藤紀先生のお話について、「とても分かりやすかった」「落ち着いて考えられるようになった」という感想が寄せられています。TUF からは追加の取材がきています。

安田政彦理事は、福島市職員を対象に斎藤先生が行った講話（FM ポコで放送）の要旨を記載した福島市の対策速報と、昨日の医療生協の対策ニュースを二本松市長や各支所長に配布。二本松市では対策会議を TUF の放映に合わせて実施、市長から斎藤先生の話聞く場をセットして欲しいとの要請を受け、実現に向けて動いています。

平理事長が 飯館村へ

放射線汚染のため水道水を飲まないようにという指示が出たのを受けて、支援物資で送られた 20 のペットボトル 30 本を車に積み込み、単身支援に出かけました。

各地の声 募集しています Fax521-3475

渡辺教子理事：支部長と協力して運営委員や機関紙配布者に連絡をとり、状況確認をしています。Fax がある方には対策ニュースを送っています。3 人の高齢者を介護している方は班長さんが毎日連絡をとってサポートしています。

後藤ミンさん：被災から 1 昼夜たって電気が通り、わが家の地下水が汲めるようになったので、入口の道路に「水をどうぞ!!」の看板を立てました。1 日 150~200 人ぐらいの人が来て、家族が 1 人交通整理をして対応しました。

紺依純子理事：昨日の Fax で斎藤先生のお話聞けました。野菜がない組合員にハウスや貯蔵の野菜を配っています。